

## 平成26年度初級者CRC養成研修、 上級者CRC養成研修 アンケート結果

(独)国立病院機構大阪医療センター  
森下 典子

### 平成26年度初級者CRC養成研修、上級者 CRC養成研修 アンケート調査について

#### 【対象者】

標準カリキュラム(案)を用いた研修会に参加した研修生

#### 【方法】

- ・初級者・上級者研修のアンケートは、各機関・団体が通常実施している「研修会終了後のアンケート」結果を、主催者の許可を得て、本カリキュラムの研修の一部とした。
- ・当研究既オリジナルの調査として「初級者研修終了後3か月目あるいは6か月目の調査」、「上級者研修終了後アンケート調査」を実施した。

#### 【協力機関】

国立病院機構本部および日本病院薬剤師会

## 初級者臨床研究コーディネーター 養成研修アンケート結果 (国立病院機構主催)

### 平成26年度初級者臨床研究コーディネーター養成研修 (主催：国立病院機構) 概要

#### 1. 目的

質の高い治験・臨床研究を迅速かつ効率的に推進することが出来る臨床研究コーディネーターの育成を図る

#### 2. 対象者

所属病院長の推薦を受けた以下の者(非常勤職員を含む)

定員：洋検、実習とも80名程度

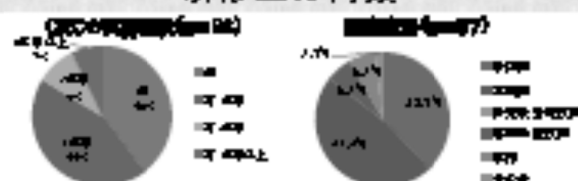
#### 【期間(4日間)】

当該研修の修了において、治験・臨床研究実施の必要知識が「年々増える者、増える・臨床研究実施研修中実習SU1本研修の受講経験がない者」

#### 【修了(1年～2年)研修+実習、1年～2年：修了のみ、1年～2年：修了のみ】

洋検受洋検了者、SU1以前洋検のみを受洋検了者、かつ、現在も治験・臨床研究実施に従事している者

### 研修生の背景



### 受講前に研修生が感じていた課題

#### ○施設側

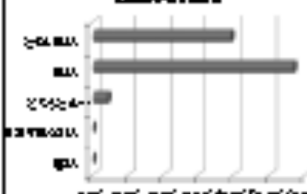
1. 治験実施状況
2. 治験実施体制
3. 院内教育・連携
4. マニュアル

#### ○個人

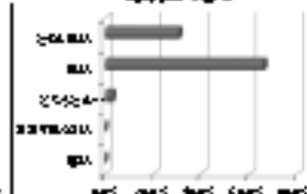
1. 治験に関する基礎知識・CRC業務の理解不足
2. 他部門の関わり・役割について

### 初級者研修カリキュラムについての研修生の意見

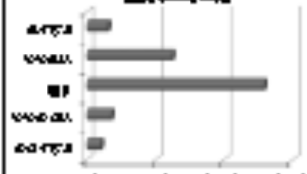
#### 【全研修生】



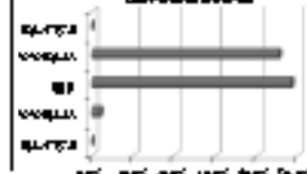
#### 【研修内容】



#### 【研修時間】



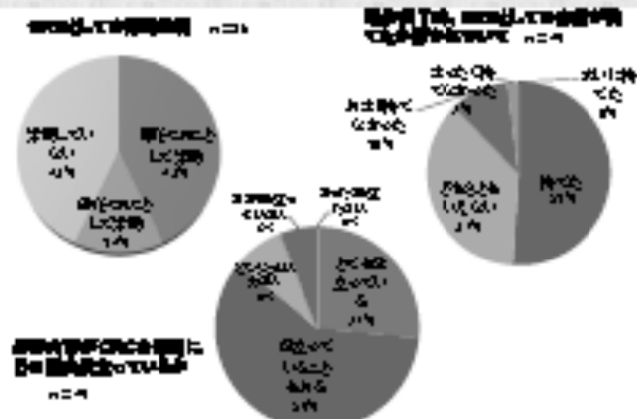
#### 【研修満足度】



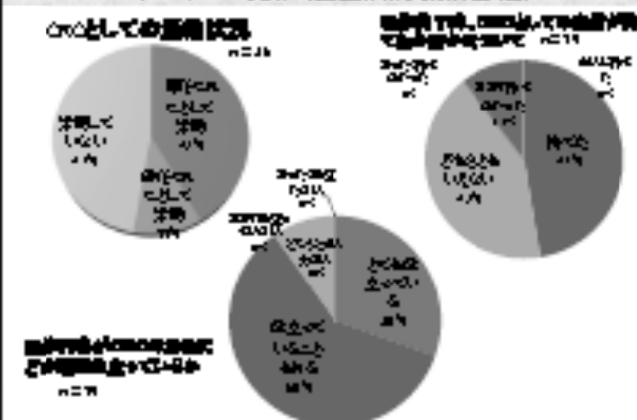


## 初級者臨床研究コーディネーター 養成研修終了後3か月目・6か月目 アンケート調査結果

## 第17回 CRC養成研修会(夏)終了後3か月目 アンケート結果(日本病院薬剤師会主催)



## 初級者臨床研究コーディネーター養成研修終了後6か月目 アンケート結果(国立病院機構主催)



## 上級者臨床研究コーディネーター養成 研修カリキュラムの実践 (厚生労働省主催国立病院機構実施)

## 平成26年度上級者臨床研究コーディネーター (CRC)養成研修(主催:厚生労働省)

### 1. 研修目的

臨床研究・治験実施医療機関において、臨床研究・治験を一層推進し、医療機関における適正な臨床研究・治験の実施に寄与することを目的とする。

### 2. 対象者

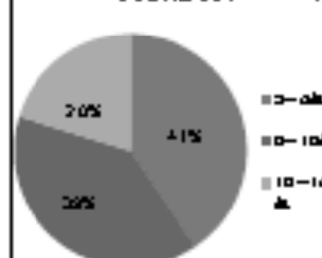
以下を目指す、医療機関に所属する者

- 臨床研究コーディネーターの経験をもったリーダーシップがとれる上級CRC

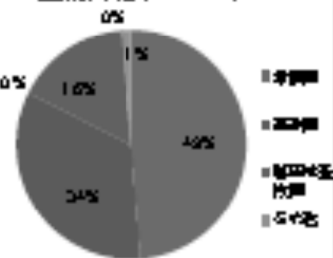
### 3. 研修期間 2日間

## 上級CRCの背景

CRCの実務経験(n=74)



医療資格(n=74)



全球たいと

| ● 志望校の特色                       | ● 志望校の特色                        | ● 志望校の特色                 |
|--------------------------------|---------------------------------|--------------------------|
| ・チームのカラー・マーク                   | ・他校とのCRと意見交換し視野を広げたい            | ・後進の指導・育成の方法             |
| ・「チームワーク」                      | ・自分のCRとしてのあり方を見つめ直す             | ・各年CRの先生教育               |
| ・組織・チーム力                       | ・自己評価する者となり、今後の自分のあり方を考える機会としたい | ・浴敷に関わるメンバーの支えの在り方       |
| ・研究倫理                          | ・プロフェッショナル意識                    | ・今後の新人教育                 |
| ・心の健全とその活用                     | ・プロフェッショナル意識                    | ・多職種との協働                 |
| ・臨床研究の方法論                      | ・より積極的に関わられるようCRとしての技量を習得したい    | ・新たな発展への対応能力の向上につなげていきたい |
| ・浴敷、臨床研究や医師主導診療を推進するするための支援の方法 |                                 | ・他校における浴敷環境の体制整備につなげる    |
| ・研究発表・大会などの最新の動向               |                                 |                          |
| ・継続性のあるチーム                     |                                 |                          |

上級者CRC養成研修受講者アンケート結果  
「各プログラムの目標達成度」

[illegible]

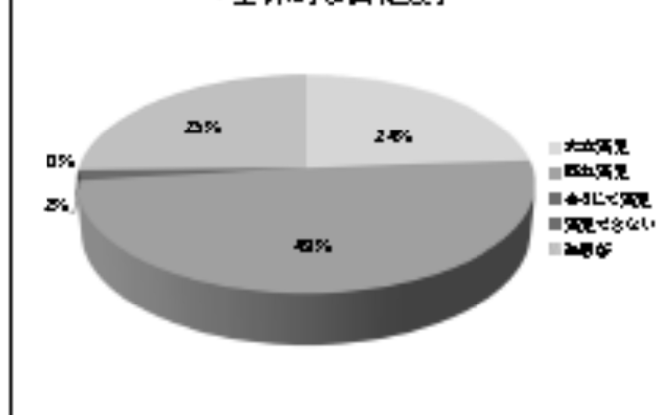
上級者CRC養成研修受講者アンケート結果  
「各プログラムの目標達成度」

[illegible]

上級者CRC養成研修受講者アンケート結果  
「各プログラムの目標達成度」

| 구분     | 가정 노동력 | 직장 노동력 | 비노동력 | 합계 | 비율 |
|--------|--------|--------|------|----|----|
| 가정 노동력 | 2      | 40     | 11   | 1  | 3  |
| 직장 노동력 | 11     | 41     | 7    | 0  | 3  |
| 비노동력   | 10     | 40     | 9    | 0  | 3  |
| 합계     | 2      | 41     | 11   | 0  | 3  |
| 비율     | 3      | 43     | 3    | 0  | 9  |

上級者CRC養成研修受講者アンケート結果  
「全体的な満足度」



「上原君は、東京二一デパートに勤務する」  
へのお礼・感謝（事件）

- [illegible]



## まとめ

1. CRC集成研修標準カリキュラム(案)は、初級者研修・上級者研修ともに全国若手研修生から積極的に入れられる内容であった。
2. 「授業科目の目標」は、おおむね適当と評価できるが、一部で講義の内容を付け加えなければ達成が難しいものもあった。
3. 全国若手の意見では、どの研修会においても、講義時間の配分、講師選定に困難を要している。
4. 特に上級者研修では、全国若手そのものの力量が求められる。
5. 研修科目に対する理解が全国若手や講師に正しく伝わるためには、各講義の具体的な内容を提示するなどの工夫が留められる。

## 謝 辞

研修生へのアンケート調査にご協力いただいた、

国立病院機構本部 総合研究センター 職員の皆様  
および日本病院薬剤師会 職員の皆様

そして、全国若手へのインタビューにご協力いただいた、

国立病院機構本部 浴敷専門部  
清水裕子 様・小嶋 麻 様

日本病院薬剤師会 鶴丸雅子 様

に厚く御礼申し上げます。